

鹿児島市 雨水出水浸水想定区域図（浸水継続時間）

- 1.説明文
- ①

この図は、鹿児島市の公共下水道全体計画区域において、水防法の規定により定められた想定最大規模の降雨（1時間降雨153mm）が発生した場合に想定される浸水継続時間を示した図面です。この図で色がついていない場所は、計算上では浸水深50cm以上の時間が24時間以上継続しない場所です。しかし、雨の降り方によってはこの図に示されていない場所でも浸水する可能性があり、浸水継続時間も長くなる場合がありますので注意してください。
- ②

この図は、令和2年度の公共下水道（雨水）の整備状況を勘案して、想定最大規模の降雨により想定される内水氾濫が発生した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。
- ③

浸水被害実績により、シミュレーション手法（詳細・簡易）の範囲を区分しています。簡易シミュレーションは、公共下水道（雨水）施設に一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される浸水継続時間等を求めたものです。公共下水道（雨水）施設への流入やあふれた水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される浸水継続時間が異なる場合があります。
- ④

このシミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、津波、高潮、洪水による氾濫等を考慮していませんので、この図で色が付いていない場所においても浸水が発生する場合や、想定される浸水継続時間が実際と異なる場合があります。
- 2.基本事項
- ①

作成主体：鹿児島市
- ②

指定年月日：令和7年6月30日
- ③

指定の根拠法令：水防法（昭和24年法律第193号）第14条の2第2項
- ④

対象とした降雨：想定最大規模降雨（確率年：1,000年、時間最大雨量：153mm）
- ⑤

対象とした区域：全体計画区域
- ⑥

浸水想定手法：詳細シミュレーション手法（降雨損失、表面流出、管内水理、氾濫解析）
簡易シミュレーション手法（降雨損失、氾濫解析）
- ⑦

境界条件：詳細シミュレーションは、外水位の影響を考慮しております。海域は2.840m、各河川は原則計画高水位となります。
簡易シミュレーションは、河川を満水状態と想定しております。
- ⑧

その他計算条件等：対象の区域を25mメッシュに分割し、メッシュごとの浸水継続時間を計算しています。
公共下水道（雨水）施設と河川を一体としたシミュレーションではありません。
浸水継続時間が24時間未満のメッシュは浸水深に関わらず非表示となります。

